



穴師坐兵主神社（桜井市）



山の辺の道の桜井市北端部から少し東へ歩いた山のふもとに鎮座してい

摂社は「相撲発祥の地」

ます。付近には、邪馬台国有力候補地の纏向遺跡や第10代から第12代の宗神、垂仁、景行3天皇の宮跡伝承地などがあり、この地域は古代ヤマト王権発祥の地といわれています。

かつては上社と下社があり、上社の穴師坐兵主の時代に、倭姫命が天皇の御膳の守護神として奉斎されたのに始まるとされます。現在の本殿は同神社を中央に、両隣に巻向坐若御魂神社と穴師大兵主神社を祭っており、3社とも式内社です。

神社は東側の弓楯嶽（弓月が岳の表記も）にありましたが、室町中期の争乱で焼失したため、下社の穴師大兵主神社のあった現在の社地に移ったと言われています。また巻向山にあった巻向坐若御魂神社も合祀され、現在の祭祀の形になったと考えられています。

（住所）桜井市穴師493
（祭神）穴師坐兵主神社・兵主神、大兵主神、若御魂神
相撲神社・野見宿禰

（交通）JR巻向駅から徒歩約25分
（拝観）境内自由
（駐車場）あり
（電話）なし

（奈良まほろばソムリエの会会員 岡本喜一）